

【心臓の病気】

透析を受けている方は、つねに体液の量が過剰であり、また血管の石灰化がおこりやすいため、動脈硬化がすすんでいます。そのために狭心症（運動した時などに胸が痛くなるが、安静にしているともとに戻る）や心筋梗塞（心臓自体に血液を送っている冠動脈が完全に詰まって、心臓の筋肉が壊死を起こす）になる割合が高く、どちらも一般の方の約 10 倍あると言われています。糖尿病や高齢の方は、更にこの割合が 2 倍から 8 倍高くなります。

また、透析を受けている方は、一般の人よりも危険な不整脈（心臓の拍動のリズムが異常になり、脈が乱れ胸がドキドキする）の発生率が約 9 倍高いことがわかっています。透析中は不整脈が発生しやすく、特に狭心症のある方では、透析中の危険な不整脈の発生率が高く放置していると死に至る危険があります。

《心臓の検査》

- ・心臓超音波検査（心エコー）
- ・ホルター心電図検査
- ・トレッドミル検査
- ・心臓カテーテル検査、治療



【血管の病気】

閉塞性動脈硬化症（ASO）とは、下肢の動脈が動脈硬化のために血液の流れが悪くなったり、時にはつまったりして起こる病気をいいます。下肢の血液の流れが悪くなるために、足先の冷たい感じやしびれがおこり、歩いていると足が痛くて歩けなくなるなど歩行が困難になります。放置しておく、安静時でも痛みをとまなうようになり、更に悪化すると足先の組織の一部が死んだ状態（壊死）を起こし、下肢切断に至ることもあります。

日本透析医学会の調査によると、脳血管障害による死亡率は 5.5% 前後であり、死亡原因の第 5 位です。透析を受けている方の脳卒中を起こす危険度は一般の人の 5.2 倍で、とくに脳出血の危険が高いことが報告されています。

《血管の検査》

- ・ABPI 検査
- ・下肢動脈超音波検査（下肢エコー）
- ・下肢動脈造影、下肢動脈 PTA
- ・頸動脈超音波検査（頸部エコー）